

調査番号		A-j-01従			
名称	兎楓丸文作土段文様錦			貴重度～5	☆☆☆☆
調査年月日	2006/5/16	調査者	藤井健三	銘記	
製作地	日本	製作年	19C中		
織名称		法量縦	60cm	法量横	49.4cm
織耳	ナシ				
形状	裂地				
用途	夏帯地				
紋様	兎と楓の丸文と兎と楓の作土の段文様			素材	
地色				染料・顔料	
織技法名	平地別撮み錦				
染技法名					
地組織	平	耳部組織		耳部組織数	
地経系素材	絹	経系 色	白	経系 染材	
経系 撚		経系 上撚	2本引揃	経系 下撚	甘S
経系 密度	44/cm	緯系 素材	絹	緯系 色	白
緯系 染材		緯系 撚		緯系 密度	28/cm
緯系 上撚	引揃	緯系 下撚			
織幅	不明	織幅 片耳			
地紋				地紋越仕様	
地紋組織	平組織 地緯と同口に色緯を入れて、無紋部は裏トジをする。	地紋文丈		地紋文釜	
地紋カマ数		地紋カマ種類		地紋文把吊	
上文	絵緯文	上文仕様		上文組織	平
トジ組織		*裏トジ		経使用	
トジ		地撮トジ		地撮	
地総		地経使用トジ		別撮トジ	○
別撮	1	別地		別経使用トジ	2
別撮経 素材	絹	別撮経色	白	別撮経上撚	引揃
別撮経撚・下撚		上文文丈	13.8cm	上文文カマ	8.5cm
上文カマ数	6以上	上文カマ種類		上文文把吊	2本
絵系		胴		縫取	
素材1	絹	色1	淡紅、淡茶、縹	染材1	
撚1		上撚1	引揃	下撚1	
密度1	28本 全越	素材2	絹	色2	紅、茶、縹
染材		撚2		上撚2	
下撚2		密度2		素材3	
色3		染材3		撚3	
上撚3		下撚3		密度3	
素材4		色4		染材4	
撚4		上撚4		下撚4	
密度4		素材5		色5	
染材5		撚5		上撚5	
下撚5		密度5		箔系	
種類1		箔系撚1		箔幅1	
漆色1		芯系材1		箔系色1	
箔系上撚1		箔系下撚1		箔系密度1	
種類2		箔系撚2		箔幅2	
漆色2		芯系材2		箔系色2	
箔系上撚2		箔系下撚2		箔系密度2	
種類3		箔系撚3		箔幅3	
漆色3		芯系材3		箔系色3	
箔系上撚3		箔系下撚3		箔系密度3	
備考	地緯と同口に入れた色系で地紋を表現し、上文は絵緯を別撮みでトジて表した平地錦、地文様の色系は文様部以外は裏にまわして別撮み経まで裏トジをする。文様表現は近代的であり、江戸末期の製作と考えられるが、明治期に入る可能性もある。淡紅は初期船載の化学染料である。				
解説					